
桐箱

宗像 佳世

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

桐箱

【Nコード】

N9425Z

【作者名】

宗像 佳世

【あらすじ】

三輪酒屋の一人娘志乃は女であることを隠して幕府の重臣常盤家にお使いに行く。そこで出会ったのは美形で腕の立つ跡取り息子の景勝。景勝とともに命じられた任務は江戸の妖を殲滅すること。そこへぶつきらぼうな浪人、時貞も加わり。

一の段（前書き）

のろのろいきます。

一の段

世の中で一番怖いものは何でしょう。

じしんかみなりかじおやじ？

いやいや本当はわかつているのでしょうか？・・・人だつて。

志乃はあるお屋敷の前に立っていた。大きな門構えで立派な垣根のあるお屋敷に。門番もたっており、腰に下げた刀で志乃に切りかかりそうな、気迫のある門番であった。志乃は胸の前の風呂敷包をみると、意を決したように門番に言った。

私は、わたくし三輪酒屋のものです。例のものをお持ちしました。

すると門番は志乃のほうを疑うように睨み、お前のようなものを三輪酒屋が遣わすわけがないだろう、と声を荒げた。志乃は負けじと前に進み、帯の間から文を取り出して門番に見せた。門番は手紙をみたたん、これは失礼いたしました、と志乃に許しを請うような目を向けた。もう一人の門番が志乃によって来て、裏に勝手口があるのでそちらのほうからお入り願います、と耳打ちした。かくして志乃は幕府の重臣、常盤家に入ったのである。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9425z/>

桐箱

2011年12月29日14時46分発行